

【問い合わせ】 学校教育課 ☎47-1283 FAX47-1290

ゲームやスマートフォンの普及が家庭での学習に影響を与えています
2007（平成19）年から実施している全国学力・学習状況調査によると、市においては、「平日に2時間以上ゲームをする」と答えた子ども

は、小学校で31.5%、中学校で38.4%、また、「平日に3時間以上携帯電話・スマートフォン・メール・インターネットなどを利用する」と答えた子どもは、小学校で6.4%、中学校で19.8%いるという結果が出ました。

これまで、公立小・中学校は完全学校週5日制でした

皆さんは、「最近、土曜日なのに子どもが登下校している姿を見かけるのはなぜだろう。」「小・中学生は、土曜日は学校が休みじゃないの?」という疑問を抱いたことはありませんか。
実は、市では昨年4月から、市内すべての公立小・中学校で月に一度、第3土曜日に授業を実施しています。
今回の特集では、そんな土曜授業をテーマに取り上げ、実施の概要を詳しくお伝えするとともに、市内の小・中学校で実施されている取り組みをご紹介します。

そのための、子どもたちに計画的に時間を活用させるなどの生活時間の調整が必要になってきました。
また、学校・家庭・地域住民などがより一層連携してそれぞれの役割を明確にすることで、これまで以上に豊かな教育環境を提供し、今後は社会全体で子どもたちの成長を支えていけるような取り組みを進めていくことが求められています。


一方、「休日」に2時間以上家庭学習をする」と答えた子どもは、小学校の全国平均が24.5%であるのに対し、市においては18.0%、中学校の全国平均が41.7%であるのに対し、市においては32.8%と、いずれも全国平均の数値を大きく下回っていることがわかりました。

子どもの生活時間の調整と学校・家庭・地域の連携が必要です

全国学力・学習状況調査の結果を受け、市では、ゲームやスマートフォンなどの利用時間の長さが課題であるとし、それらが家族で過ごす時間や家庭学習の時間に影響していると考えています。
そのための、子どもたちに計画的に時間を活用させるなどの生活時間の調整が必要になってきました。
また、学校・家庭・地域住民などがより一層連携してそれぞれの役割を明確にすることで、これまで以上に豊かな教育環境を提供し、今後は社会全体で子どもたちの成長を支えていけるような取り組みを進めていくことが求められています。

◆実施日・実施時間
毎月第3土曜日の午前3限
※7月・8月を除きます。
※給食はありません。

◆実施のねらい
①土曜授業の実施により、児童・生徒の教育活動を充実させる。
②すべての学校で読書活動を充実させるとともに、自学時間を設定したり、授業の中で家庭での学習の進め方を指導したりするなどして、自ら学習する力を育む。
③授業の時間の確保、発展した学習・補充学習により、学力の向上を図る。
④学校・保護者・地域住民が連携した教育活動を進める。



規則が改正され、土曜日の授業実施が可能になりました
国は、2013（平成25）年11月、子どもたちの教育環境のさらなる充実を図るため、学校教育法施行規則を改正しました。
これによって、市町村の教育委員会の判断で土曜日に授業を実施することが可能になり、市では検討を重ね、昨年4月、市内すべての公立小・中学校で土曜授業を実施することになりました。

3つのキーワード 「自読」「自学」「共学」

主な授業の流れは次のとおりです。

1 限目 自読

—自ら読む—

読書の時間

自分の興味のある本を1時間かけてじっくり読み込むことで、さまざまな知識を身につけるとともに、考える力や言語に関する能力を育成します。

小学校では、ゲストティーチャーによる読み聞かせ活動などを取り入れながら、自読につなげる取り組みも行っています。



2 限目 自学

—自ら学ぶ—

自分自身で学習する力を身につける時間

プリントやドリルを活用した学習や、自主学習ノートでの予習・復習、これまでの全国学力調査の問題、みえスタディチェック（三重県独自の

学力調査）の問題などに取り組みんでいます。

中学校では、過去の入試問題などにも取り組んでいます。

これらの時間は、自分で課題を見つけようとする意欲を持たせたり、学習する習慣を身につけさせたりできるよう、教師が指導・支援・助言を行います。

3 限目 共学

—共に学ぶ—

学校と、保護者・地域住民が連携した教育活動の時間

集会や体験活動、授業参観などを計画し、保護者や地域の皆さんとふれあい、共に学ぶための時間として設けています。

△主な学習内容▽

- PTAの親子行事や学習発表会
- 人権・薬物乱用防止・ネットモラルなどの講演会
- 演劇の鑑賞
- 地域のボランティアを招いた学習
- 地域住民とのふれあい学習

※3限のうち、2限連続で集会活動・体験活動・授業参観などを行った

り、終日運動会や卒業式などの学校行事に充てる場合もあります。



土曜授業を通して、教育の充実と家族の絆づくりを



▲伊賀市教育長 野口 俊史

教育環境の充実と、学校への保護者や地域の参加がねらいです

近頃、ゲームやスマートフォンなどを利用する時間が長く、休日を用意に過ごせていない子どもが増えています。そこで、このような子どもたちに充実した教育環境を与え、また、土曜日を学校行事や学級活動などに活用できれば、保護者や地域の皆さんにも携わってもらいやすいのではないかと考え、土曜授業の実施を決めました。

学力・人権・キャリア教育につなげるための読書を

土曜授業の読書では、自分で選んだ本を読むということを大切にしています。また、読書は集中力や学力が身につくのももちろんですが、物語を読み、主人公の気持ちを考えることは人権教育につながり、伝記や科学・自然などの本は将来の仕事の糧となってキャリア教育につながります。伊賀市は、教育において

学力・人権・キャリアに力を入れており、読書にはこれらの要素が含まれると考えています。

土曜授業での学習を家庭学習に置き換えることができます

家でどんな勉強をすればいいのかわからない子どもや保護者が多いと思います。家庭学習の指導は土曜授業の目的のひとつであり、土曜日に学校で行っていることを同じように家ですること、それが家庭学習に変わるといって効果があります。休日の朝、好きな本を読んだり、プリントや宿題をするなど、自分の好きな勉強をする、それが家庭学習になるんです。

第3土曜日は家族の絆を育む日に

第3土曜日のお昼は、ぜひ家族と一緒に食事をしてください。しかし、仕事などで土曜日は家にいないという家庭の場合は、必ずしも一緒に食べなければならぬわけではないと思います。たとえコンビニ弁当であっても、一言手紙を添えて置いておくだけで親子のつながりを示すことができ、子どもは親の愛情を感じて喜ぶものです。

子どもとつながるための方法はさまざまです。第3土曜日の午後には、子どもと関わり合つきっかけを考える日にしてほしいと思います。

市内の小・中学校で実施されている 土曜授業の様子を紹介します

神戸小学校

〈校長先生のお話〉

土曜授業の実施が

コミュニケーションを円滑に

土曜授業の日には、ほかの教師や子どもたちの話をじっくり聞く余裕ができます。平日は忙しく、なかなかこのような時間を十分にとることができないので、これは土曜日ならではの利点であると思います。

児童は落ち着いた様子で自ら学習し、教師は一人ひとり行き届いた支援を行っています。

世代を超えて地域の人と交流を

子どもたちと地域の高齢者が世代を超えて交流できる「神戸ふれあい学習」を土曜授業の活動に充てています。この行事を通して、子どもたちに自分の住んでいる地域の魅力を感じてもらい、地域を愛する子どもたちの健やかな成長をめざしています。

(神戸小学校 前川 忠保校長)

自読 読書の時間

「本を読むって楽しい！」



▲読書に集中する先生と児童たち

共学

神戸ふれあい学習

お手玉



こま回し



けん玉



▲『誰が一番先にできるかな？
よーい、ドン！』

グラウンドゴルフ



▲『おいしい！
もう少し左だね。』

将棋



オセロ



折り紙



僕は
グラウンドゴルフを
教わったよ！



▲神戸地区老人クラブ
連合会 会長
中北 昭さん

昔のあそびを教えながら、地域の子どもたちと交流を深めています。私は、「神戸ふれあい学習」でけん玉の担当を8年間続けています。けん玉を教えるというよりは、子どもと一緒に楽しみ、交流を深めることにやりがいを感じています。けん玉のように手先を使う遊びは子どもの集中力を養うことができず、最初はうまくできず苦戦しながらも、子どもたちはすぐに上達していきます。

最近、地区内でも祖父母と同居する家庭が少なくなっており、子どもたちにとっても、自分たちにとっても、異なる世代と触れ合うことのできる貴重な機会だと思います。

また、神戸小学校では、神戸地区老人クラブの伝承活動部とともに、数十年にわたって菊作りを行っています。育てた菊は公民館などに置かれ、地域の人の目を楽しませていきます。私はこの菊作りにも携わっており、長年にわたって地域の子どもたちを見守り続けています。

これからも、このような地域の関わりを大切にしていきたいです。

島ヶ原小学校・島ヶ原中学校

校長先生のお話

読書や自主学習の習慣化

土曜授業では、小学校1年生から自分で学ぶ習慣をつける学習を進めています。

読書の時間において、今まで本を読まなかった児童にも読書の習慣がついてきたと感じています。親子での読書や家庭学習など、保護者の皆さんに協力をいただくこともあり、担任からの連絡を通してお願いしています。

(島ヶ原小学校 中垣 和穂校長)

土曜授業の時間を家族交流のきっかけに

土曜授業が始まり、講師を招いての体験活動など、普段できないことができるようになりました。これからも子どもたちにより多くの経験の場を提供していきたいです。

また、保護者の皆さんには、体育祭や文化祭だけでなく、今後は土曜授業も活用して、学校での子どもたちの様子を見る機会を増やしてほしいです。

(島ヶ原中学校 池町 健治校長)

自読 読書の時間



▲落ち着いた雰囲気、自分の本を夢中になって読む児童たち

共学 合唱練習



▲この日は、土曜授業の時間を文化祭に向けての合唱練習の時間に活用しました。



共学 ワークシヨップ

江戸糸あやつり人形体験



▲講師の実演を笑顔で見つめる児童たち

動かすの難しい



▲糸の引っ張り方に苦戦しました。



大山田中学校

自学 プリントなどを活用した自主学習

◀教師は家庭での学習方法のアドバイスも行っています。



▶真剣な表情で学習に取り組む生徒



えーっと、この問題はね…



▲生徒同士で勉強を教え合う様子

今年度の土曜授業も残りわずかとなりました。これまでの実施内容をもとに、当初のねらいを再確認し、来年度に向けてさらなる教育活動の充実や子どもたちの学力向上に努めていきます。

保護者や地域の皆さんには、今回ご紹介した土曜授業の基本的な考え方をご理解いただき、今後もご支援いただけますようお願いいたします。